

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
山本・栖吉地区

平成23年2月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	公園来園者数	人/年	445,100	480,000	484,800	確定 見込み ●	○	あり なし	545,300	H22年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	調整池の水草を刈り取ったことにより、憩いとうおいの空間形成が図られ、来園者数が増加した。
指標2	危険箇所復旧率	%	20	80	97	確定 見込み ●	○	あり なし	97	H23年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	危険箇所を整備したことにより、災害時の安全性の向上が図られた。
指標3	自主防災組織の会議	回/年	1	3	5	確定 見込み ●	○	あり なし	4	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域防災マップ作成事業等により自主防災組織の会議等が活発に行われ、地区住民の防災意識の向上が促進された。
指標4						確定 見込み ●	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み ●	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	危険家屋減少数	戸	10	/	757	確定 見込み ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域の生活道路における危険箇所が解消され、安心安全に暮らせるようになり、住環境の向上につながった。
その他の数値指標2	自主防災組織の結成数	団体	18	/	25	確定 見込み ●	/	/	26	H22年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自主防災組織の結成の促進により、地区住民の防災意識の向上につながった。
その他の数値指標3						確定 見込み ●	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	防災性・安全性の高い地域づくり	すまいの耐震改修促進事業	個人住宅の耐震化が促進され、防災性・安全性の高い地域づくりが推進した。	今後も個人住宅の耐震化を進めていく。個人住宅の耐震化が促進されるよう、各種の情報提供や支援策、助成制度のPRに努める。
	悠久山公園の再生整備	参道周辺整備等の基本計画策定	基本計画の策定により、参道周辺整備等の実施が期待される。	今後は、基本計画を基に参道周辺整備等を推進していく。また、市民との協働で桜の植樹事業を推進していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	道路ネットワークの形成	道路拡幅改良事業	道路拡幅により、冬期間においても交通の確保ができ、集落から非難場所への道路ネットワークが構築された。	市道東幹線84号線整備事業は関係者との協議が整わず、完成することができなかったため、引き続き協議を行い早期完成を目指す。
	悠久山公園調整池の水草対策	・水草対策の検討調査 ・定期的な刈り取り等	水草の刈り取りにより、憩いとうるおいのある空間形成が図られ、公園来園者数も増加した。	水草は刈り取ってもすぐに発生するため、定期的な刈り取り及び、水草対策の検討が必要。
	住民の防災体制の拡充	情報伝達訓練	情報伝達装置の設置により、地区住民の防災意識の向上や災害発生時の情報伝達体制の基礎が構築できた。	設置した情報伝達装置を災害時に活用できるよう、住民の連絡体制強化及びソフト施策の拡充が必要である。
	農村集落の活性化	・市民相互支援の仕組みづくりの推進	自主防災会の結成の促進により、災害時の情報伝達体制の構築が図られ、農村集落の防災性が向上した。	結成された自主防災会等を活用し、市民相互支援の仕組みづくりや農村集落のコミュニティを活用する取り組みが必要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

やまもと すよしちく
山本・栖吉地区

にいがたけん ながおか し
新潟県 長岡市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	ながおかし 長岡市	地区名	やまもと すよし 山本・ 栖吉地区	面積	880 ha
-------	-----	------	--------------	-----	-------------------------	----	--------

計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

- 災害に強くうるおいのあるまちづくり
- 被災箇所や危険箇所等の整備を行い、地域防災性・安全性の向上を図る。
 - 調整池の整備等によりうるおいのある空間を形成する。
 - 地区住民の防災意識の向上と、災害発生時の施策の拡充を図る。
 - 復興と併せて災害に強い都市構造の実現、農村集落の防災性向上と併せた活性化、住環境の向上を目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○当該地区は、東側を自然豊かな東山連峰とそのふもとに広がる農業地帯が占めていて、地区内の優良農地や東山の森林は市民にとって食料生産や環境保全のための貴重な基盤であることから、これらを適切に維持し、保全していく必要がある。地形的には、丘陵地から平野部に変わる位置にあり、裾野を唯一の幹線道路である県道が走り、各集落からの生活道路が幹線道路へと接続している。生活道路は地形的な制約から、曲がりくねり、狭隘な道路が多く、背後に多くの急傾斜地崩壊危険区域や砂防河川の指定区域を抱えていることから、土砂災害の危険性がある区域である。平成16年7月13日に発生した「7.13梅雨前線豪雨」と10月23日に発生した「新潟県中越地震」により人的被害はなかったものの、甚大なる被害を受けた地区であり、被災した生活道路は大規模な被害、小規模な被害および今回は被災しなかったものの危険性が高い箇所等、修繕が必要な箇所が数多くある。

○区域の中心に位置する悠久山公園は、大正8年に完成した公園で「お山」の呼び名で親しまれている由緒ある公園である。桜をはじめツツジ、ショウブ、紅葉、雪景色と四季を通じて市民の憩いの場となっている。公園の中心部には泉翠池を配置し、泉翠池を中心に広がる散策路では、植物や昆虫、野鳥の自然観察を楽しむ事ができ、市民にうるおいのある空間を与えている。また、泉翠池は調整池としての機能も有しており、周辺地域にとっては重要な施設であるが、今回の被害によりその機能を失っている。復旧によりその機能を回復するとともに、市民の憩いの場を維持することでうるおいのある空間の提供を図る。

○地区の自主防災組織は数年前から組織され、市の防災訓練等にも参加し活動を行っている。今回の被災にあたっては、組織員が自主的に集落内を巡視し、一部地域では自主避難の勧告も行った。ただ住民に防災意識が浸透していなかったため、その指示に従わず、後に自衛隊の救援要請を仰いだことや各世帯で3日分の食糧、水、エネルギーを確保する必要があることなどから、地区の防災意識を高める必要がある。

○「7.13梅雨前線豪雨」により被災した生活道路の整備には大規模な被災箇所から小規模な被災箇所が多く点在。「新潟県中越地震」では、多くの箇所道路寸断（国道5箇所、県道8箇所、主要地方道4箇所）が起こった。1つの道路が寸断されても中心部と集落の交通が途絶しないように迂回路を確保することが可能な道路網を整備が必要。また、非常時における避難路として利用を想定しつつ、日常的には、自転車や徒歩で散策を楽しめるルートとして、既存の道路への歩道の設置や川沿いの遊歩道の整備を行う事が求められている。

○一連の災害では、農村集落の孤立や避難所として指定されていた建物が被害を受け、避難所として機能しなかった等の問題が起こった。復興に併せ、農村の基盤整備を行い、防災性を向上するとともに活性化を図ることが求められている。

課題

- 「7.13梅雨前線豪雨」及び「新潟県中越地震」により甚大な被害を受けた当該地区において
- 小規模な被災箇所又は被災は免れたが危険な箇所等の早期解消が必要である。
 - 防災上有効に機能することが期待できる調整池の整備等による防災機能の強化が必要である。
 - 今回の災害に寄る被災者への精神的支援のための、うるおいのある空間形成が必要である。
 - 地区住民自らの防災意識を高め、災害発生時の連絡・支援体制の確率等防災面でのソフト施策の拡充が必要である。
 - 道路網の強化が必要である。
 - 農村集落の防災性向上と併せて活性化が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 当該地区内の小規模被災箇所や、防災面・交通安全面・治水面などに問題ある箇所など、まちづくりに必要な事業を総合的に推進し、地域の防災性・安全性の向上を図る。
- 当該地区の防災マップを地区の自主防災組織とともに作成する事で、地区の防災意識の向上と地区コミュニティの形成が図られ、活力のある地域づくりを推進できる。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
公園来園者数	人／年	当該地区内の悠久山公園の来園者数	悠久山公園を整備し、うるおいのある空間整備を図る	445,100	H16	480,000	H21
危険箇所復旧率	%	当該地区における危険箇所復旧率	危険箇所を整備し、災害時の安全性の向上を図る	20	H16	80	H21
自主防災組織の会議	回／年	自主防災組織、地区住民の勉強会開催回数	地域防災マップ及び災害情報コンテンツ提供マニュアルの作成をテーマに、自主防災組織の会議を開催し、地区住民の防災意識の向上を図	1	H16	3	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・悠久山公園の整備 公園整備(泉翠池・瓢箪池の浚渫等含む) <ul style="list-style-type: none"> ○水害で被害を受けた泉翠池・瓢箪池の浚渫を含む公園整備 ○園路舗装のバリアフリー化 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園事業(悠久山公園整備)(基幹事業) ○悠久山公園再生整備計画調査(提案事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・道路網の強化 ア. 道路網の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○河川災害復旧助成事業(稲葉川工区)と連携した道路整備 イ. その他危険箇所の改善 <ul style="list-style-type: none"> ○小規模被災箇所や危険箇所の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路整備事業(中心部と直接連絡する道路の新設)(基幹事業) ○公共土木施設災害復旧事業(関連事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・農村集落の防災性向上 情報伝達機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域生活基盤施設(地域防災施設の整備)(基幹事業) ○公共土木施設災害復旧事業(関連事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトな防災力の向上 ア. 災害情報内容の検証 <ul style="list-style-type: none"> ○緊急告知FMラジオの情報提供内容の有効性についての検証 イ. 地域住民の防災意識の高揚 <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織により「地域防災マップ」を作成し、市民相互支援の仕組み(仮称市民助け合いシステム)構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域防災マップ及び情報伝達コンテンツ提供マニュアル作成(提案事業) ○まちづくり交付金事業実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討業務委託(提案)
<p>その他</p>	

